

文部科学省共同利用・共同研究拠点／大学共同利用機関 連携シンポジウム

異分野融合によるヒトの社会性の理解を目指して

日時：令和2年2月23日(日) 13:00~17:30

会場：玉川大学 大学研究室棟 B104 会議室
(東京都町田市玉川学園6-1-1：小田急線玉川学園前駅下車徒歩10分)

参加費無料
定員：先着100名
(事前申込み必要)

プログラム

- 13:00~ **開会挨拶**
- 13:05~ **研究拠点紹介** (各拠点5分)
・自然科学研究機構 生理学研究所 (所長 鍋倉淳一) ・昭和大学「発達障害研究拠点」(所長 加藤進昌)
・同志社大学「赤ちゃん学研究拠点」(センター長 板倉昭二) ・玉川大学「社会神経科学研究拠点」(所長 小松英彦)
- 13:30~ **セッション1** (座長：鍋倉淳一)
「霊長類動物をモデルとして社会性の神経機構を探る」
磯田昌岐 (自然科学研究機構生理学研究所認知行動発達機構研究部門 教授)
「対面コミュニケーションにより生じる相互作用の神経基盤：2個体同時計測 fMRI 研究」
定藤規弘 (自然科学研究機構生理学研究所心理生理学研究部門 教授)
- 14:20~ **セッション2** (座長：加藤進昌)
「発達障害の脳研究からヒトの社会性を考える」
中村元昭 (昭和大学発達障害研究所 准教授/副所長)
「発達障害専門外来とデイケアにおける取り組み」
太田晴久 (昭和大学発達障害研究所 准教授)
- 15:10~ **休憩**
- 15:40~ **セッション3** (座長：板倉昭二)
「顔じゃないのに顔とってしまう～パレイドリアからさぐる顔認知の発達～」
加藤正晴 (同志社大学赤ちゃん学研究センター 准教授)
「社会的優位性の初期発達～赤ちゃんは人間関係をどう見ているのか?～」
孟 憲巍 (同志社大学赤ちゃん学研究センター 助教)
- 16:30~ **セッション4** (座長：小松英彦)
「ソーシャルロボットの近接空間学」
岡田浩之 (玉川大学学術研究所 AIBot 研究センター センター主任/工学部 教授)
「向社会的行動を支える脳の働き-大規模サンプルを対象にした研究」
高岸治人 (玉川大学脳科学研究所 准教授)



申込方法 下記にアクセスして事前申込をお願いします。
<https://www.tamagawa.jp/research/brain/braincollabo/jointsympo2020.html>



お問い合わせ 玉川大学脳科学研究所
社会神経科学研究拠点 共同利用・共同研究支援室
Email: bsi_collabo@tamagawa.ac.jp
TEL: 042-739-8265

主催：玉川大学脳科学研究所「社会神経科学研究拠点」
昭和大学発達障害研究所「発達障害研究拠点」

自然科学研究機構 生理学研究所
同志社大学赤ちゃん学研究センター「赤ちゃん学研究拠点」